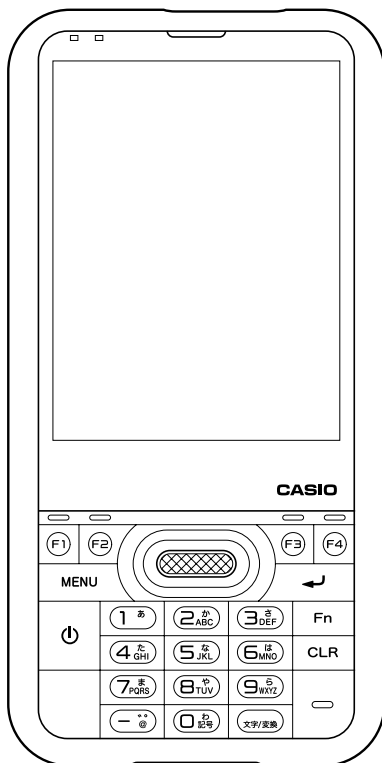
J

CASIO

スマートコミュニケーター
IT-300

取扱説明書

・この取扱説明書は、本機の基本的なご使用方法および取り扱いについて説明してありますのでご使用前にひと通りお読みください。
・ご使用の前に「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も大切に保管してください。
・保証書の記入を確認の上、取扱説明書とともに大切に保管してください。

Bluetooth®

BLUETOOTHは、Bluetooth SIG, Inc., U.S.Aが所有する登録商標で、カシオ計算機はライセンスを取得しています。

日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のiWnnIME for WindowsMobileを使用しています。

目次

安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

・ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

・本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⃠ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。（左の例は分解禁止）

● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

使用上のご注意

⚠ 警告

■分解・改造しないでください

●本機を分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。また、高温になる部分がありやけどの原因となります。

■異常状態で使用しないでください

●万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、購入先またはカシオテクノ・PAリペアーセンターにご連絡ください。

■異物が中に入ったときは

●万一、異物が本機の内部に入った場合は、電源を切り、購入先またはカシオテクノ・PAリペアーセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■破損したときは

●万一、本機を破損した場合は、電源を切り、購入先またはカシオテクノ・PAリペアーセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■水などがかからないようにしてください

●IT-300は防沫仕様ですが、USBユニットやオプションのデュアル充電器等は防沫仕様ではありませんので、水などがかからないようにしてください。また、IT-300を濡れた状態で装着しないでください。水がこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

■レーザ光をのぞき込まないでください

●本機は、レーザ光でスキャンします。
レーザ光を直接見たり、目にあてたりすることは絶対に避けてください。

■引火性ガスが発生する場所では

注意

●ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にハンディターミナルの電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。

⚠ 注意

■異物が入らないようにしてください

禁止

●内部に金属物や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。

■設置場所について

禁止

●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
●炎天下の車中に長時間放置しないでください。

■本機の上に重いものを置かないでください

禁止

●重いものを置くと、置いたものがバランスをくずして倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■表示画面の取り扱いについて

禁止

●タッチパネルを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。タッチパネルや液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
●液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
・万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
・目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

無線通信機能の取り扱いについて

⚠ 警告

■他の電子機器への干渉について（無線機能を使用する場合）

- 病院内や医療用電気機器のある場所での使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。特に手術室、集中治療室、冠状動脈疾患監視病室や特に医療機関側が本機の使用を禁止した区域では、本機の無線通信機能をOFFにするか本製品の電源を切ってください。
  電波により医療用電気機器に影響を及ぼすことがあります。
- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離してください。電波によりペースメーカーの作動に影響を及ぼすことがあります。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、無線通信機能をOFFにするか本製品の電源を切ってください。電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 各航空会社では、航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器、電子機器の使用を禁止しております。航空機内では無線通信機能をOFFにしてください。電子機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

⚠ 注意

■他の電子機器への干渉について（無線機能を使用する場合）

本機は小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しております。
使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
- その他、電波干渉が発生した場合などお困りのことが起きたときは、「商品についてのご相談」に記載されている連絡先までお問い合わせください。

2.4FH1	この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。
2.4DS/OF4	この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SSおよびOFDM方式を採用し、与干渉距離は40mです。

リチウムイオン充電池パックについて

⚠ 危険

- 充電池パックを水や海水などにつけたり、濡らしたりしないでください。充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電池パックを火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所で使用したり、放置したりしないでください。充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電池パックは指定された機器以外で使わないでください。指定機器以外の用途に使うと、充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電池パックはプラス・マイナスの向きが決められています。充電器や機器に取り付けるときはプラス・マイナスを逆に接続しないでください。プラス・マイナスを逆に接続すると、充電池パックが漏液、発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電池パックを火の中に投入したり、加熱したりしないでください。充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電池パックの⊕と⊖端子を針金などでショートさせないでください。充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電池パックを金属製のネックレスやヘヤピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。金属類が端子に触れてショートすると、充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。充電池パックを持ち運ぶときや保管するときは、充電池パックに付属のソフトケースを取り付けてください。
- 充電池パックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電池パックに釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電池パックを分解したり、改造したりしないでください。充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。

- 充電池パックの充電は専用充電器を使用してください。他の充電器で充電すると、充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。

⚠ 警告

禁止

●充電池パックを電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。

●充電池パックから異臭がする、発熱、変色、変形している場合は使用しないでください。そのまま使用すると、充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。

注意

●充電池パックの使用時間が今までより著しく短くなった場合は、充電池パックの異常の可能性がありますので使用を中止してください。この異常な充電池パックを充電すると、充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。

●所定の時間を超えても充電が完了しない場合は充電を中止してください。そのまま充電を続けると、充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。

●充電池パックから液がもれていたり、異臭がする場合は火気から遠ざけてください。引火して充電池パックを破裂、発火させる原因となります。

●充電池パックからもれた液が目に入ったときは、こすらずに、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗った後、ただちに医師の診断を受けてください。

⚠ 注意

禁止

●充電池パックを直射日光の当たるところや炎天下の車内など高温のところで使用したり、放置したりしないでください。充電池パックを発熱、発火させる原因となります。また、充電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

●静電気の発生する場所で充電池パックを使わないでください。充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。

注意

●充電池パックからもれた液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

●充電池パックは小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。また、使用中は小さなお子さまが充電器や使用機器から取りはずさないようご注意ください。

AC電源の使用について

⚠ 警告

●表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となります。

●電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。

●電源コード(特にプラグ部分)、ACアダプタ(特にプラグやジャック部分)の清掃には洗剤を使用しないでください。

●必ず専用ACアダプタをお使いください。専用品以外のACアダプタを使用すると、火災・感電の原因となります。

●万一電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、購入先またはカシオテクノ・PAリペアーセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

●電源コードをストーブなどの熱器具に近づけないでください。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります(必ずプラグを持って抜いてください)。

●濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因となることがあります。

●移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

●使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。

●長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

ACアダプタについて

⚠ 注意

● ケース表面が､ある程度の熱を出すので､注意してください。

● 感電に、注意してください。

● ACアダプタは年に1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部を清掃してください。

ACアダプタにほこりがたまると､湯気などで絶縁不良となり火災のおそれがあります。

重要なデータは控えをとっておいてください

⚠ 注意

●本機を使用したことおよび故障／修理や電池消耗などにより､データが消えたり､変化したことで生じた損害や逸失利益､または第三者からのいかなる請求についても､当社ではその責任を負えません。あらかじめご了承ください。

●本機は、電子メモリを使用しているため、電池が消耗したまま放置したり、電池交換の仕方を誤ったりして一定の電源が供給できなくなると、データが消えたり変化することがあります。失ったデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ず控えをとっておいてください。

使用上のご注意

本機は精密機器です。使いかたを誤ったり乱暴に扱うと、データが正常に保存できなくなったり故障することがあります。次の注意をよくお読みのうえ、正しくお取り扱いください。

●電池が消耗した状態で使い続けないでください。

データが消えたり変化することがあります。電池が消耗したら、すぐに電池を充電してください。

●消耗した電池を入れたまま、長時間放置しないでください。

電池が液漏れすることがあります。液漏れは本機の故障、破損の原因になることがあります。

●各機種の使用温度の範囲内でご使用ください。

範囲外で使用すると故障の原因となります。

●次のような場所での使用は避けてください。

本機の故障、破損の原因になります。

- 静電気が発生しやすいところ
- 極端に高温または低温のところ
- 湿度の高いところ
- 急激な温度変化が起こるところ
- ほこりの多いところ

●タッチパネルは、指で軽く触れて操作してください。

タッチパネルを強く押したり、先がとがったもの(爪・ボールペンなど)で押したりしないでください。タッチパネルが傷ついたり、動作上の障害が発生することがあります。

●次のような操作では、タッチパネルが正しく動作しないことがあります。

- タッチパネルに異物が付着あるいは接触した状態での操作
- 専用品以外の保護シートやシールなどをタッチパネルに貼った状態での操作
- 指やタッチパネルが濡れた状態での操作
- 手袋をはめたままでの操作

●本機の清掃に、シンナー、ベンジンや化粧品などの揮発性の薬剤を使わないでください。

本機が汚れたときは、乾いた布か中性洗剤に浸して固くしぼった布で拭いてください。

●IT-300はJIS防沫型に準拠しておりますが、次の点に十分ご注意の上ご使用ください。

- 多量の雨や水滴がついたときは、乾いた布などで十分に拭き取ってください。
- 雨中で長時間使用しないでください。
- 充電池パックカバー、microSDカードスロットカバーやコネクタカバーを確実に閉めてご使用ください。
- 雨中でタッチパネルやキーを強く押さないでください。

●液晶パネルについて

液晶パネルは、高精度な技術で作られており、有効画素は99.99%以上です。
点灯しない画素や常時点灯する画素が存在することがありますが、液晶パネルの特性で、故障ではありません。

●充電池パックについて

充電池パックには寿命があります。充電のしかたによっては、充電池パックの劣化が進み、容量が低下してご利用できる時間が短くなります。

充電池パックを長持ちさせるために、正しい充電方法でお使いください。

- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときはご使用前に必ず充電してください。
- 頻繁に充電を繰り返すと寿命が短くなります。残量が少なくなってから充電してください。
- 指定の温度範囲で充電してください。指定の温度範囲は機器により違います。取扱説明書を参照してください。範囲外での充電は電池を劣化させる原因になります。
- 低温環境でのご使用は、充電池パックの容量が低下しご使用できる時間が短くなります。また、充電池パックの寿命も短くなります。
- 充電池パックが冷えている状態での充電は電池を劣化させる原因になります。低温環境での作業後は、充電池パックを常温に戻して(1時間程度放置して)から充電してください。
- 充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の新しい充電池パックと交換してください。
- 長期間保存する場合は充電池パックが満充電の状態で保存しないでください。長期間保存するときは、電池残量が30 ～ 50%の状態で、低温下で保存してください。電池の劣化が少なくなります。
- 充電池の劣化は、時間の経過でも進行します。特に、満充電状態での高温保存(使用)は、短期間での劣化を招くことがあります。

はじめに

- 本書の内容に関しては、将来仕様改良などにより予告なしに変更することがあります。
- 本書の使用による損害および不利益などにつきましては弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書では、本機のプログラミング方法、ダウンロード方法などは記載いたしておりませんので、ダウンロードなどに関しては、別資料をご覧ください。

保証およびサービスについて

- 保証書は製品に添付しておりますので、記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。保証書に「品名」「保証期間(購入日)」「購入先名」などの所定事項が記入されていないと無効となり、無償修理などを受けることができません。もし記入されていないときはすぐにお買い上げの購入先に申し出て記入してください。
- 万一故障した場合は機種名およびお買い上げ日と故障内容をお買い上げの購入先までご連絡ください。
- 安心して機械をご使用いただけるように、購入時に「保守契約」を締結されることをお勧めいたします。

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

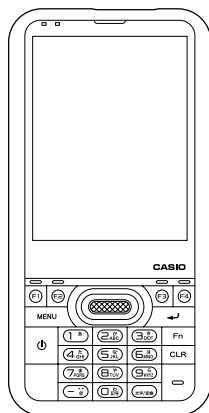
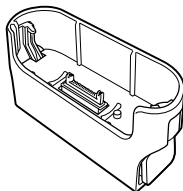
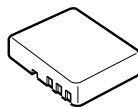
●本製品の使用済後の取扱について
「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機(株)では、地域環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりましたパーソナルコンピュータを始めとする情報通信機器の回収・再資源化活動を行っております。
お客様からの廃棄処理依頼に対し回収いたしますので、弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。
回収申込方法は、カシオホームページ【http://www.casio.co.jp】でご案内しております。

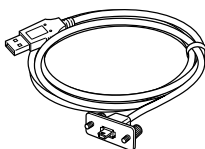
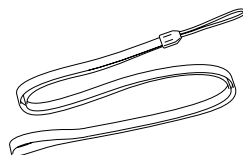
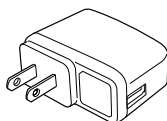
●本製品は二次電池を使用しております。交換後のリサイクルにご協力ください。
「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機(株)では、地球環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりました二次電池の回収・再資源化活動を行っております。弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。
回収については、カシオホームページ【http://www.casio.co.jp】でご案内しております。

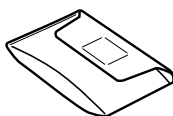
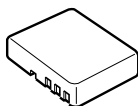
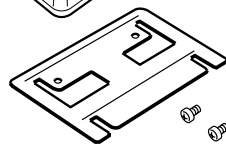
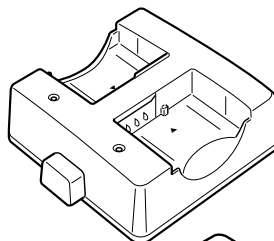
本機のシステム体系図

IT-300
（本体）

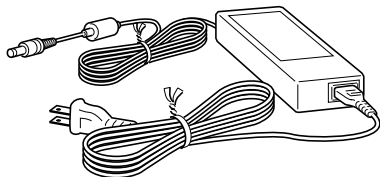
付属品一覧

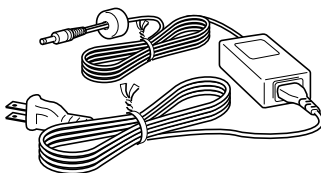
本機をはじめてお使いになる前に、箱の中身を確認してください。

●USBユニット
（HA-J65US）

●充電池パック
（HA-D20BAT-A）

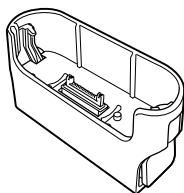
●ミニUSBケーブル
（HA-J80USBM）

●ネックストラップ

●USB-ACアダプタ
（AD-S5050USB）

●取扱説明書（本書）
●保証書

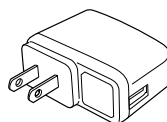
別売品一覧

充電池パック	デュアル充電器
HA-D20BAT-A	HA-D32DCHG

別売品一覧

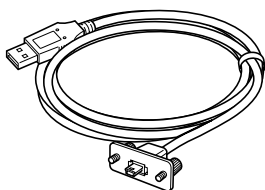
デュアル充電器用ACアダプタ

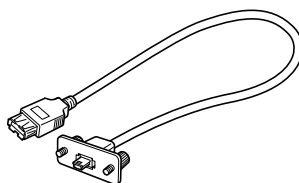
AD-S42120B

本体(USBユニット)用ACアダプタ

AD-S15050B

USBユニット

HA-J65US

USB-ACアダプタ

AD-S5050USB

ミニUSBケーブル

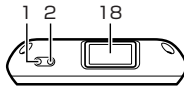
HA-J80USBM

ミニUSBホスト変換ケーブル(Aメス)

HA-J81USBH

液晶保護シート

HA-J90PS5

各部の名称とはたらき

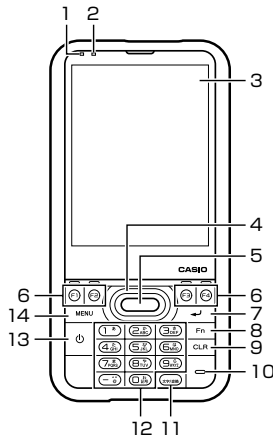
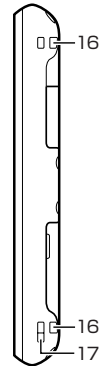
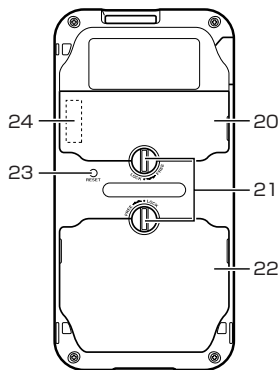
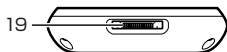
IT-300（本体）

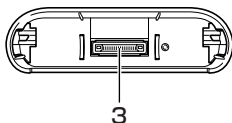
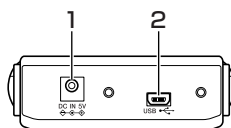
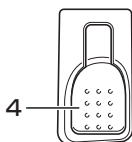
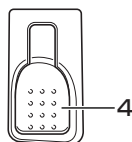
＜天面＞

＜左側面＞

＜正面＞

＜右側面＞

＜裏面＞

＜底面＞

1	インジケーター1	オレンジ色点灯：充電中 緑色点灯：充電完了 赤色点滅：電池パックの異常または充電可能温度範囲外
2	インジケーター2	青色点滅：BT使用時 オレンジ色点滅：WLAN使用時 マゼンタ色点滅：通信可能状態（USB接続時） 赤色点灯：バーコード読み取りエラー時 緑色点灯：正常に読み取れた時 アラーム機能は赤色に点灯します。
3	タッチパネル	文字や操作の指示などが表示されます。また、指で本機の操作やデータ入力を行います。
4	カーソルキー	パソコンの上下、左右カーソルキーと同等の働きをします。
5	トリガーキー	バーコードを読み取る操作をするキーです。 任意の機能を設定することも可能です。
6	ファンクションキー	あらかじめ登録されているアプリケーションを起動するときに使用します。
7	エンターキー	数値入力の完了あるいは次のステップへ実行を移すときに押します。
8	Fnキー	置数キーと組み合わせて、各種の設定をするとき、また、あらかじめ登録されているアプリケーションを起動するときに使用します。
9	CLRキー	入力したキーの内容をすべて取り消すときに押します。
10	マイク	音声を入力します。
11	文字/変換キー	文字入力モードの切替を行うときに押します。
12	テンキー	数値や文字入力するときに押します。
13	電源キー	電源をON/OFFするキーです
14	メニューキー	アプリケーションに対応するメニューを表示します。
15	イヤホンマイクジャック	イヤホンマイクを接続します。
16	ストラップホール	ストラップを取り付けます。
17	USBユニット取り付け部	USBユニットを取り付けるときに使います。
18	バーコード読み取り口	この窓からレーザー光、LEDが照射され、バーコードを読み取ります。
19	給電/データ通信端子	USBユニットに接続してUSB通信や給電に使います。
20	microSDカードスロットカバー	この中にmicroSDカードを装着します。
21	ロックスイッチ	カバーを開閉するときに回転させます。
22	充電池パックカバー	この中に充電池パックを装着します。
23	リセットスイッチ	リセットするときに押します。
24	microSDカードスロット	microSDカードのスロットです。

USBユニット

1	ACアダプタジャック	ACアダプタを接続します。
2	USB用ポート	ミニUSBケーブルを接続します。
3	給電/データ通信コネクタ	IT-300と接続してUSB通信や給電に使います。
4	ストッパー	IT-300を取り外すときに押します。

充電池パックの取り付け／取り外し

本機では2種類の電池を使います。
本機の動作に使用するメイン電池とメモリ保護に使用するバックアップ電池があります。

メイン電池には、充電池パック（HA-D20BAT-A）を使います。
バックアップ電池は、本体に内蔵されています。

本書では使用する電池を次のように記載しています。

メイン電池：　動作用の充電池パックのこと
バックアップ電池：本体に内蔵されたメモリ保護用の電池のこと
充電池パック：　メイン電池として使用する充電池パック（HA-D20BAT-A）のこと

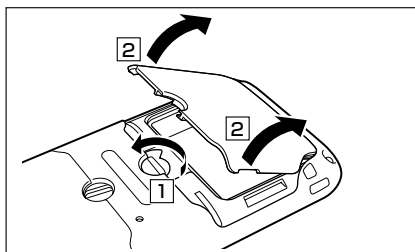
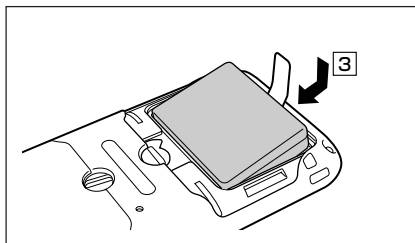
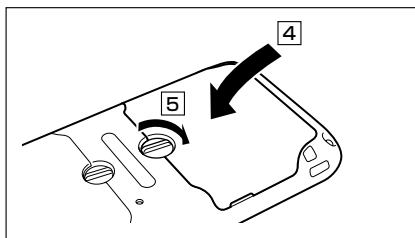
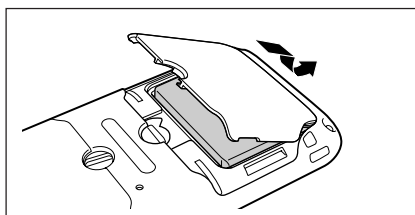
メイン電池が消耗したら、すみやかに充電を行うか充電済みの充電池パックに交換してください。
充電池パックは、USB-ACアダプタ、ACアダプタ、デュアル充電器を使用して充電できます。
充電方法は各機種の取り扱いのページを参照してください。

使用上のご注意

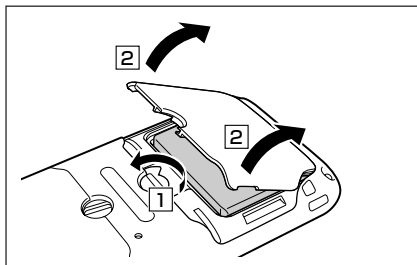
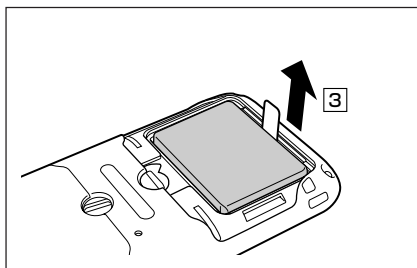
■ 重要なデータは控えをとっておいてください

- メイン電池は動作用およびメモリ保護用の電源、バックアップ電池はメモリ保護用の電源となっていますので、バックアップ電池が消耗した状態でメイン電池をはずさないでください。バックアップ電池が消耗した状態でメイン電池をはずすと、データが消えたり変化することがあります。失ったデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ず控えをとっておいてください。
- 充電池パックは自然放電により、電池電圧が低下していることがあります。使用前に必ず充電をしてください。
- 充電池パックは、充放電をくり返すうちに電池寿命が低下します。充電しても極端に連続使用時間が短くなったら充電池パックを交換してください。
- バックアップ電池が満充電の場合、メイン電池を外しても約10分間メモリ（RAM）のバックアップを行うことができます。
- バックアップ電池は、メイン電池がセットされた状態において4日間で満充電の状態になります。

取り付け

1 本機を裏返し、充電池パックカバーのロックスイッチを「FREE」の位置に回転させ(1)、充電池パックカバーを取り外します(2)。

2 充電池パック(HA-D20BAT-A)を取り付けます。向きを間違えないように注意してください。
また、取り出しテープの端が充電池パックの上に出た状態になるように取り付けてください(3)。

3 図のように充電池パックカバーを元に戻し(4)、ロックスイッチを「LOCK」の位置に戻してください(5)。

取り外し

1 電源がOFFになっているのを確認します。
電源が入っていたら、電源キーを押して、必ずOFFにしてください。

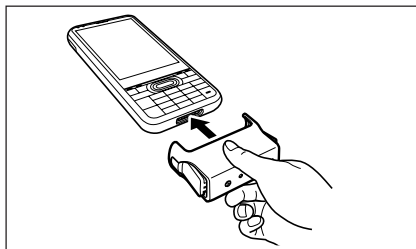
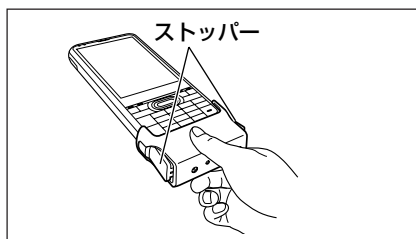
2 本機を裏返し、充電池パックカバーのロックスイッチを「FREE」の位置に回転させ(1)、充電池パックカバーを取り外します(2)。

3 図のように充電池パックを取り出します(3)。

使用上のご注意

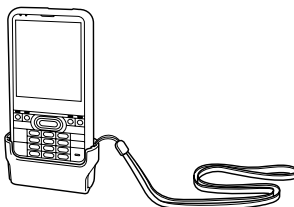
- 充電池パックの交換は10分以内に行ってください。
- 10分以上充電池パックを外した状態が続くと、RAMに記録されたデータが消えます。
- 指定された電池以外は使用しないでください。
- 充電池パックは、取り出しテープを真上に引き上げて取り出してください。無理に取り出すと破損の原因となります。

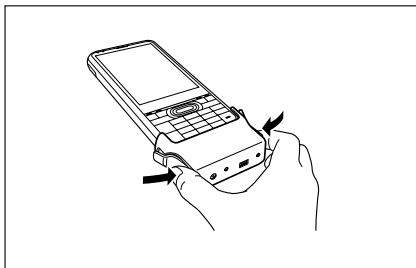
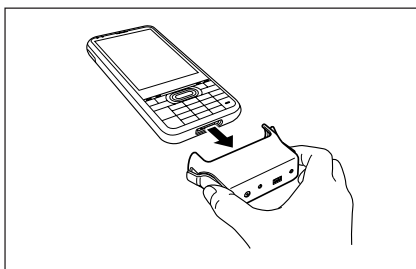
USBユニット(HA-J65US)の取り扱い

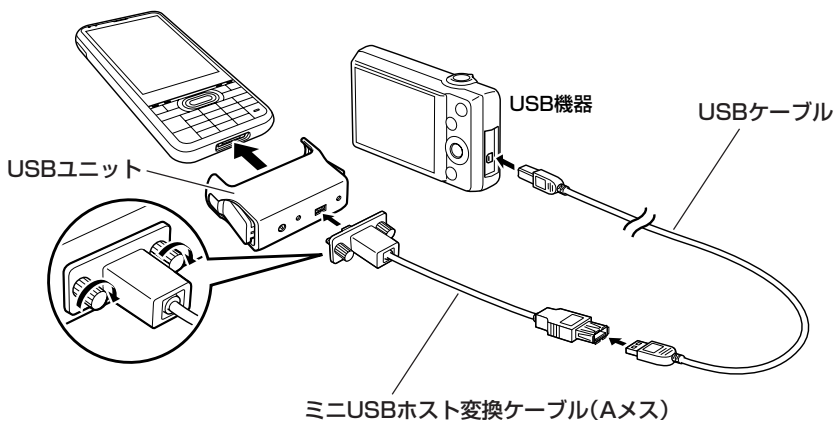
本機に装着した充電池パックを充電するときや、別売品のミニUSBホスト変換ケーブル(Aメス)を使用して他の機器とUSB接続するときは、本機にUSBユニットを取り付けます。

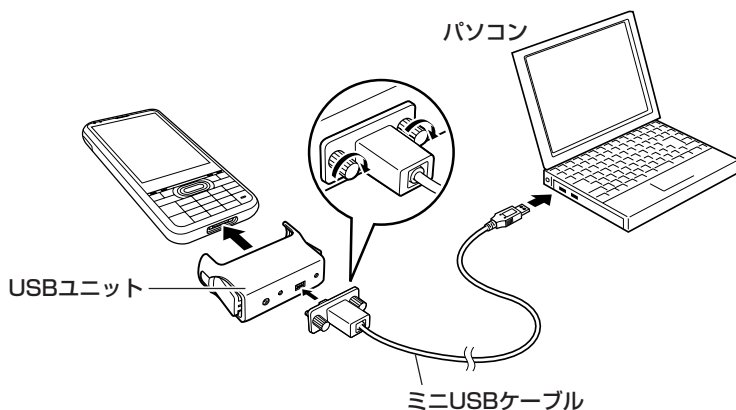
取り付け

1 図のように本機の底部にUSBユニットを差し込みます。

2 取り付け後は、ストッパーによって確実にロックされていることを確認してください。

使用上のご注意

- USBユニットは取り付ける向きが決まっています。間違った向きで取り付けようとして無理に押し込んだりしないようにご注意ください。
- 本体やUSBユニットの給電／データ通信端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタやUSBケーブルを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- 本体やUSBユニットの給電／データ通信端子は絶対にショートさせないでください。ショートさせると故障の原因となります。
- ネックストラップをご使用の場合は、はさみ込まないよう注意してセットしてください。セットしづらいときは、本体上部のストラップホールにネックストラップを取り付けてください。

取り外し

1 図のようにUSBユニットの左右のストッパーを押してロックを外します。

2 ストッパーを押したままUSBユニットを本機から抜き取ります。

ミニUSBホスト変換ケーブル(Aメス)(別売品)の取り扱い

USBユニットに接続し、USB機器と接続します。

パソコンとの接続

USBユニットおよびミニUSBケーブル(HA-J80USBM)と組み合わせてパソコンと接続して、USBデータ通信ができます。パソコンから電源が供給され、IT-300に装着した充電池パックを充電することができます。

IT-300のインジケータ1の表示

オレンジ色点灯：充電中

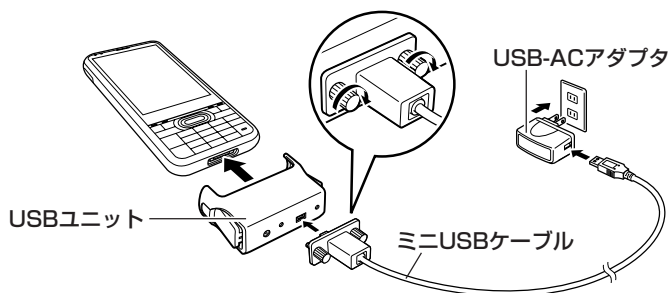
赤色点滅：　充電池パックの異常、充電可能温度でないため待機中（充電可能温度になると充電開始）

緑色点灯：　充電完了

充電のしかた

同梱品のUSB-ACアダプタや別売品のACアダプタ(AD-S15050B)を使ってIT-300に装着した充電池パックを充電することができます。充電状態はIT-300のインジケータで確認します。
別売品のデュアル充電器(HA-D32DCHG)を使って充電地パックを充電することができます。
また、パソコンと接続して通信中に充電することができます。(P.26「パソコンとの接続」を参照してください。)

USB-ACアダプタ(同梱品)

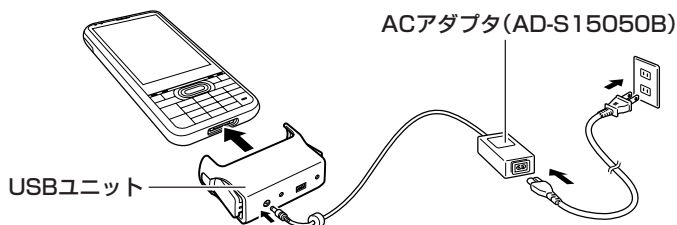
同梱品のUSBユニットおよびミニUSBケーブルと組み合わせて使用します。

使用上のご注意

- **別売品のミニUSBホスト変換ケーブル(Aメス)(HA-J81USBH)は、充電には使用できません。**
- **専用品以外のUSB機器を取り付けないでください。故障の原因となります。**

IT-300のインジケータ1の表示

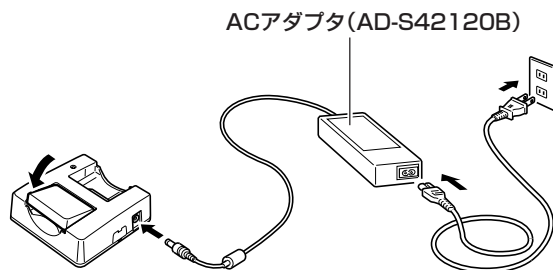
オレンジ色点灯:充電中
赤色点滅:　充電池パックの異常、充電可能温度でないため待機中
(充電可能温度になると充電開始)
緑色点灯:　充電完了

ACアダプタ(別売品)

同梱品のUSBユニットも使用します。

IT-300のインジケータ1の表示

＊前のページの「USB-ACアダプタ(同梱品)」を参照してください。

デュアル充電器(別売品)

別売品のデュアル充電器用ACアダプタ(AD-S42120B)も使用します。

※3台まで連結することができます。

充電表示用LEDの表示

消灯：　充電しないとき

赤色点灯：充電中

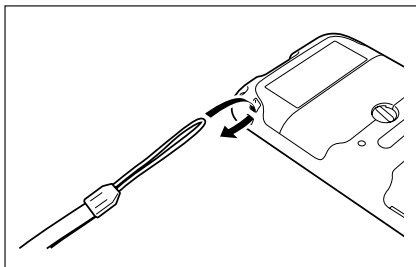
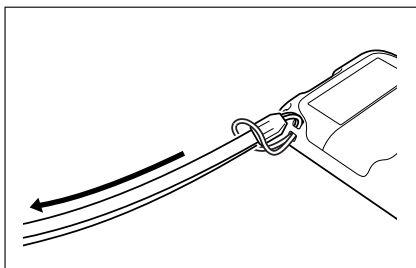
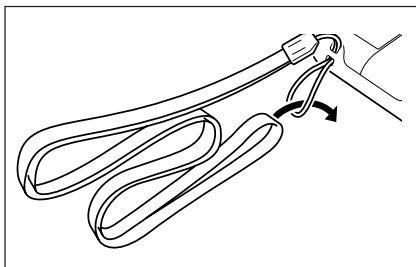
赤色点滅：充電池パックの異常

緑色点灯：充電完了

緑色点滅：充電可能温度(約0～40℃)でないため待機中
(充電可能温度になると充電開始)

ネックストラップの取り付けかた

本機は、落下防止用として、ネックストラップが使用できます。
ストラップホールは3ヶ所ありますので使い勝手の良いホールを使用してください。
ネックストラップは次の手順で取り付けてください。

1 本体裏面のネックストラップ取り付け部にネックストラップの細いひもの輪の部分を通します。

2 反対側のひも(首にかける部分)を細いひもの輪に通します。

使用上のご注意

ネックストラップを持って、本体をふりまわさないでください。

タッチパネルの操作方法

タッチパネルは指で軽く触れて操作してください。指以外では操作しないでください。

タッチパネル上では次の操作が行えます。

- タップ：軽く叩くように画面に触れます。
- タッチ：画面に長く触れます。
- フリック：画面上を払うようになぞります。
- ドラッグ：画面上でタッチしたまま指を移動させます。

画面の明るさの設定

画面の明るさを調節する

暗いところで本機を操作する場合、画面を見やすくするために、画面の明るさを調整することができます。

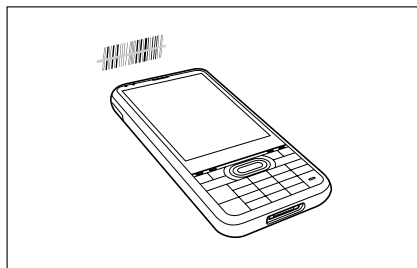
- **“Fn”キーを押して画面上に“F”が表示されたことを確認してから、“5”または“6”キーを押します。“5”キーを押すと暗く、“6”キーを押すと明るくなります。**
  ※続けて調整するときは、あらためて“Fn”キーを押してから“5”または“6”キーを押してください。
  ※コントロールパネルから「バックライト」をタップして設定することもできます。

画面の明るさを自動減光する

充電池パックを長持ちさせるために、本機の操作を行わないで一定時間が経過すると、画面の明るさを自動的に減光します。
コントロールパネルから「バックライト」をタップして減光するまでの時間を設定してください。

レーザースキャナの取り扱い

1 電源をONにして、読み取り口をバーコードに近づけ、トリガーキーを押してください。

2 レーザーが発光し、バーコードが読み取れます。
読み取りが正常に完了するとインジケータ2が緑色に点灯し、ブザーが鳴ります。

使用上のご注意

- 読み取りができないときは、角度を変えたり、距離を変えて再度読み取ってください。
- 本機は40㎜～400㎜の距離からバーコードを読み取ることができます。なお、バーコードの種類によって読み取り可能な距離が異なります。

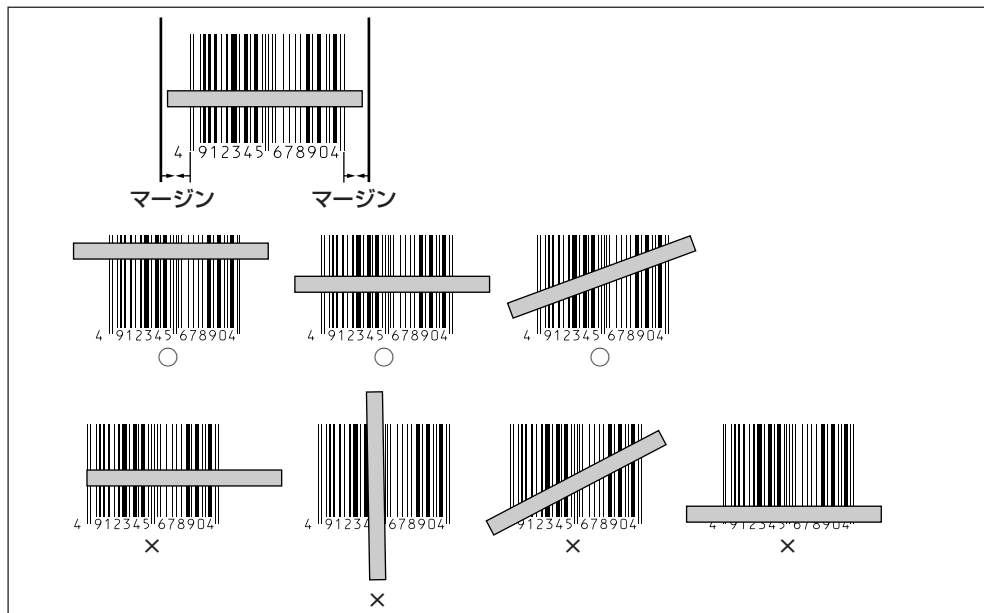
バーコードをスキャンする位置

小さいバーコードは、レーザースキャナを近づけてお使いください。
大きいバーコードは、光にバーが入るように離してお使いください。

マージン　マージン

○　○　○

×　×　×　×

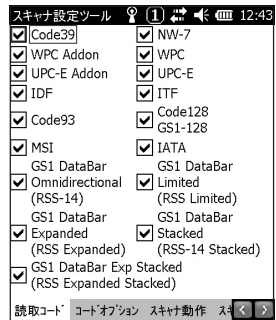
警告

■レーザ光をのぞき込まないでください。

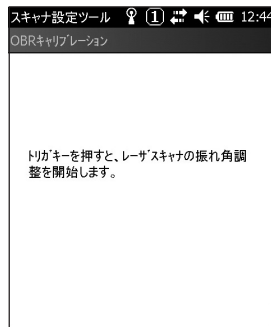
・本機は、レーザ光でスキャンします。
レーザ光を直接見たり、目にあてたりすることは絶対に避けてください。

レーザー発光幅調整法について

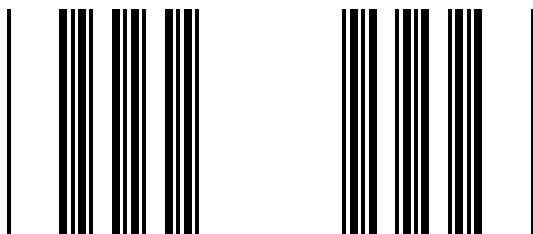
本機はレーザーの発光幅を切り替えることができます。レーザーの発光幅にずれがある場合は、次の方法で調整してください。

1 →[設定]→[システム]の順にタップします。
「コントロールパネル」が表示されます。

2 [スキャナ設定]アイコンをタップします。
「スキャナ設定ツール」が表示されます。

3 [その他]タブをタップします。

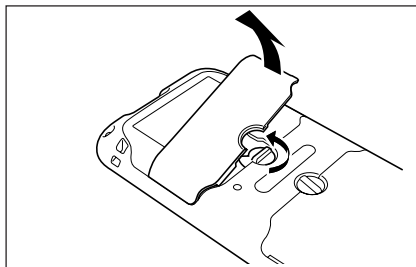
4 [OBRキャリブレーション]ボタンをタップします。
右のように表示されます。

5 トリガーキーを押してレーザーを発光させ、発光幅調整用バーコードに光を合わせます。

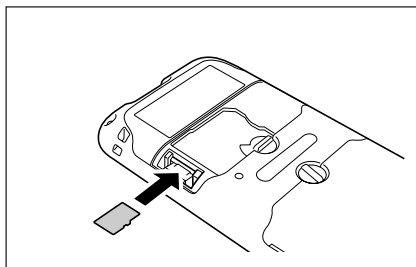
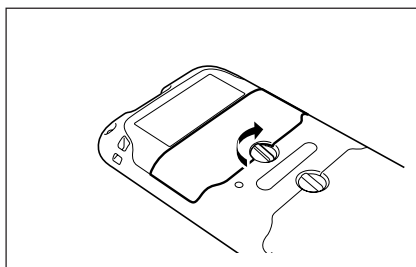
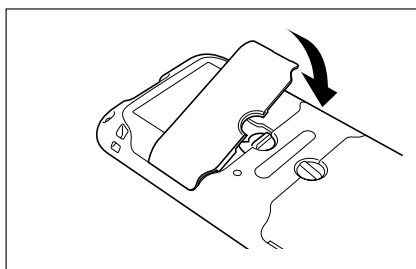
- レーザー光を両サイドにある細いバーに合わせてください。
- 調整が完了すると右のように表示されます。
- 「設定が失敗しました」と表示されたときは、設定をやり直してください。

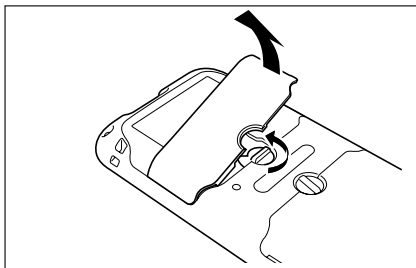
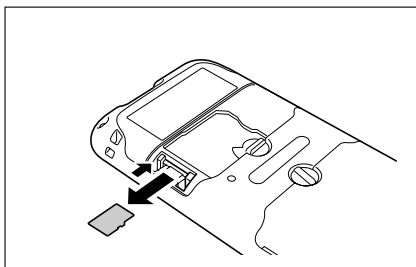
■発光幅調整用バーコード

microSDカードの取り扱い

本機はmicroSDカードに対応しています。
microSDカードの装着（交換）は次の手順で行ってください。

取り付け

1 本機を裏返し、microSDカードスロットカバーのロックスイッチを「FREE」の位置に回転させ、microSDカードスロットカバーを取り外します。

2 microSDカードの表側（文字面）を上にしてスロットに正しく合わせて、差し込みます。

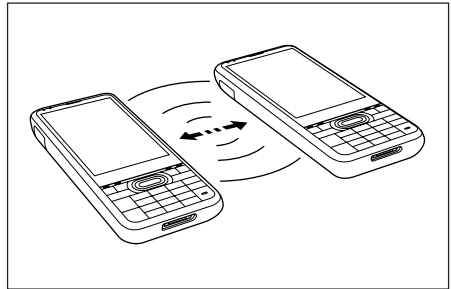
- 奥まで確実に差し込んでください。
- カードを斜めに挿さないでください。

3 図のようにmicroSDカードスロットカバーを元に戻し、ロックスイッチを「LOCK」の位置に戻してください。

取り外し

1 本機を裏返し、microSDカードスロットカバーのロックスイッチを「FREE」の位置に回転させ、microSDカードスロットカバーを取り外します。

2 図のようにmicroSDカードを押して引き抜きます。

3 microSDカードスロットカバーを元に戻し、ロックスイッチを「LOCK」の位置に戻してください。

使用上のご注意

- カードには表と裏があり、スロットへ挿入する方向も決まっています。間違った向きに無理に挿入すると、コネクタやスロットを破損するおそれがあります。挿入する際は、ご注意ください。
- カードへの書き込み、読み込み中は電源を切ったりカードを取り出したりしないでください。カードや記憶データを破損するおそれがあります。
- カードを落として破損したり紛失したりしないようにご注意ください。

Bluetooth®通信について

Bluetooth®通信は本体間の通信などでお使いになれます。
相手の機器と3m以内の距離(障害物のない状態)で通信することができます。

使用上のご注意

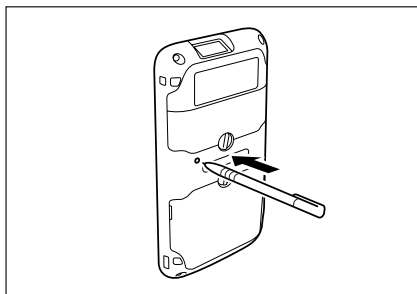
良好な通信を行うために、次の点にご注意ください。

- 他のBluetooth®機器とは、見通し距離約3m以内で通信してください。周囲の環境(障害物)によっては通信可能距離は短くなります。
- 他の機器(電気製品／AV機器／OA機器／デジタルコードレス電話機／ファックスなど)から2m以上離れて通信してください(特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください)。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に通信できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります(UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります)。
- 放送局や無線機などが近く、正常に通信できないときは、通信場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に通信できないことがあります。
- ワイヤレスLANとの電波干渉について
  Bluetooth®通信とワイヤレスLANは同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、ワイヤレスLANを搭載した機器の周辺で本機を使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
  - ワイヤレスLANを搭載した機器からは、10m以上離れて使用してください。
  - 10m以内で使用する場合は、本機またはワイヤレスLANを搭載した機器の一方の電源を切ってください。
  - Bluetooth® Ver2.0を搭載することにより、本機の無線LANとBluetooth®通信を同時使用することが可能となりますが、周囲の電波環境により通信できない場合があります。

リセットのしかた

「リセット」はパソコンでの「再起動」に相当します。リセットを実行すると、入力中や編集中などで、まだ保存していなかったRAMデータは消去されますが、フラッシュROM上に保存されているデータや各種設定などは基本的にそのまま残ります。
誤操作や何らかの異常により、本機が正常に動作しなくなった場合は、リセット操作を行う必要があります。

本機背面のリセットスイッチをシャープペンシル(芯を出さない状態)など先の細い棒のようなもので押します。

リセット処理が開始されます。

フルリセット(ハンディターミナルの初期化)について

フルリセットを実行すると、すべてのデータが消去され、各種の設定がすべて初期状態に戻ります。
＊Flashdiskフォルダに保存されているデータは消えません。

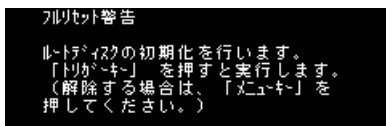
フルリセットは、次のような場合に実行します。

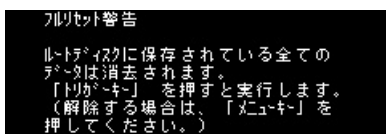
- インストールしたプログラムや設定を消去して、本機を初期状態に戻したい場合
- パスワードを忘れてしまい、本機を使うことができなくなった場合
- メモリ異常のため、本機が正常に動作しなくなった場合

フルリセットの実行のしかた

使用上のご注意

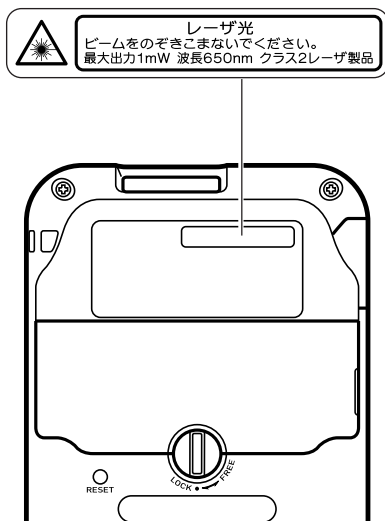
- **フルリセットを行うと、Flashdiskフォルダに保存しているデータを除いてすべてのデータが初期化されてしまいます。可能な場合は、本機のデータをパソコンもしくはFlashdiskフォルダなどへバックアップを行っておいてください。**

1 Fnキーと CLRキーを押しながらリセットボタンをシャープペンシルなど先の細い棒のようなもので約3秒間押すと、以下のメッセージが表示されます。

- 実行を解除する場合は、メニューキーを押します。

2 トリガーキーを押すと、以下のメッセージが表示されます。

- 実行を解除する場合は、メニューキーを押します。

3 再度トリガーキーを押します。

- フルリセットが実行され、すべてのメモリ上のデータが消去され、起動画面が表示されます。
  ＊Flashdiskフォルダに保存されているデータは消えません。

警告ラベルについて

- このラベルはJIS C 6802に準じた、クラス2レーザー製品の警告ラベルです。
- クラス2レーザー光は瞬間露光ですが、ビーム光を直接のぞき込むことは、絶対に避けてください。
- 本書に規定された内容以外の手順による取り扱いは危険ですので絶対に行わないでください。
- レーザー光は最大出力1mW未満、波長650nmです。

デュアル充電器(HA-D32DCHG)の取り扱い

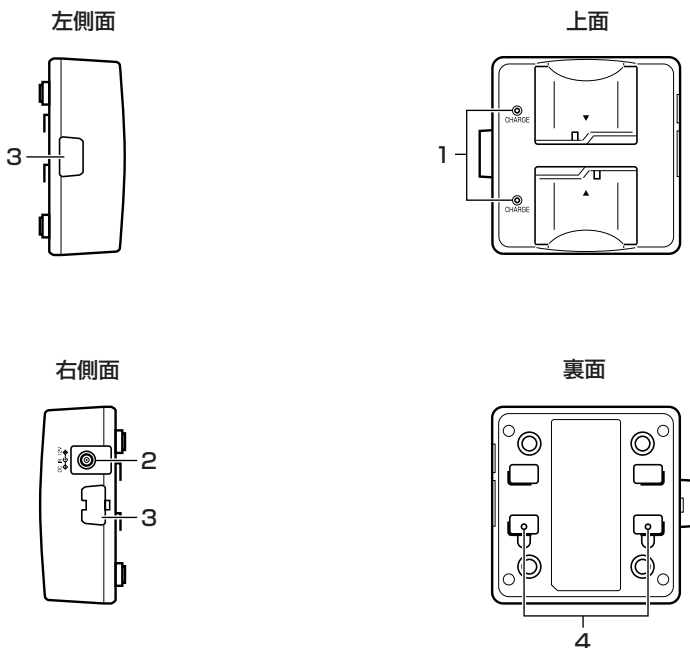
別売のデュアル充電器(HA-D32DCHG)は、充電池パック2個を同時に充電することができます。

各部の名称とはたらき

左側面

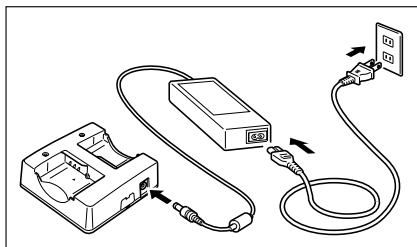
上面

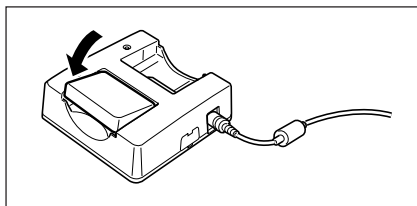
右側面

裏面

1	**充電表示用LED**	充電池パックの充電状態を表します。 消灯：　　充電しないとき 赤色点灯：充電中 赤色点滅：電池パックの異常 緑色点滅：充電待ち状態 緑色点灯：充電完了
2	**ACアダプタジャック**	ACアダプタ(別売)を接続して電源を供給します。
3	**デュアル充電器接続用端子**	デュアル充電器どうしの接続に使います。
4	**接続用アタッチメント取り付け部**	デュアル充電器を2台以上接続する際に、接続用アタッチメントを取り付けます。

充電のしかた

デュアル充電器の電源は、別売のACアダプタ（AD-S42120B）を使用してください。

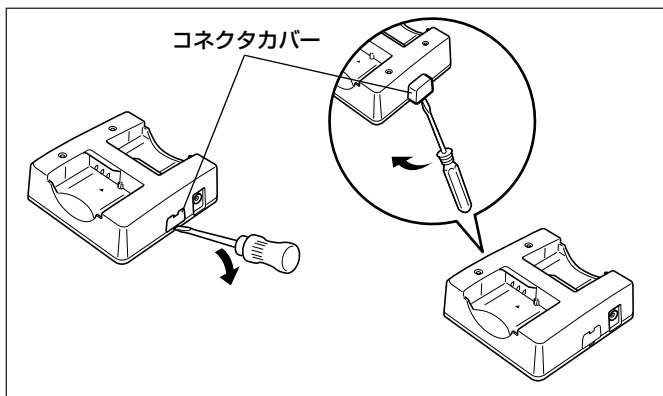
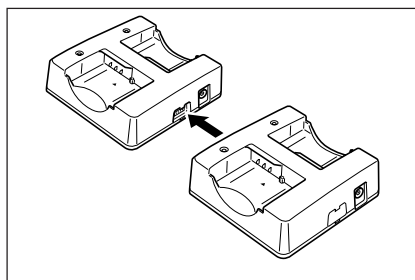
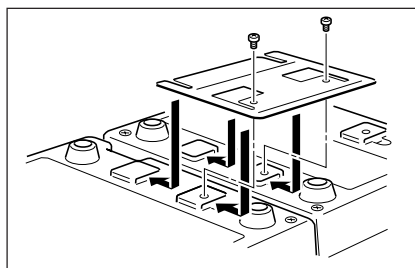
1 デュアル充電器のACアダプタジャックにACアダプタのコネクタを差し込みます。

2 別売の専用ACアダプタのプラグをコンセントに接続します。

3 充電池パックの端子の方向に注意してデュアル充電器に取り付けます。
充電表示用LEDが、赤色に点灯して充電が開始されます。

充電表示用LEDの表示

消灯：　充電しないとき
赤色点灯：充電中
赤色点滅：充電池パックの異常
緑色点灯：充電完了
緑色点滅：充電可能温度（約0～40℃）でないため待機中
（充電可能温度になると充電開始）

2台以上の接続

デュアル充電器を 3 台まで接続して、 1 つのACアダプタで使用することができます。

1 接続する側のコネクタカバーを取り外します。

2 デュアル充電器接続用コネクタを接続させます。

3 裏面に接続用アタッチメントを取り付け、ネジで固定します。
同様にして最大3台まで接続することができます。

使用上のご注意

- 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- 充電中に充電池が熱くなることがありますが、異常ではありません。
- 充電中は充電器の上にカバーをするなど物を乗せないでください。
- 充電中は充電池を外したりACアダプタを抜いたりしないでください。
- 充電池の着脱を何回も繰り返すと、充電池の劣化の原因となります。
- 接続用アタッチメントはデュアル充電器一台に一つ付属しています。
  複数のデュアル充電器を接続すると、接続用アタッチメントが一つ余ります。
  余った接続用アタッチメントは予備としてお使いください。

デュアル充電器(HA-D32DCHG)の仕様

型式：　HA-D32DCHG

充電：　充電方式：　定電流電圧方式

充電時間：　1個を装着した場合
約2時間(充電池パック1個、常温)
2個を同時に装置した場合
約3.5時間(充電池パック2個、常温)

使用電源：　AD-S42120B

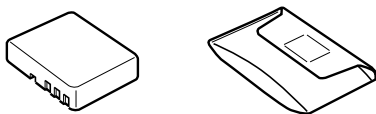
消費電流：　約450mA

使用温度：　約0～40℃

外形寸法：　約幅110×奥行き104×高さ46mm

質量：　約195g

充電池パック(HA-D20BAT-A)の取り扱い

HA-D20BAT-A

使用上のご注意

- 充電池パックを本体から外して保管するときは、必ず専用のソフトケースに入れてください。
- 充電池パックを長期間使用されない場合、自然放電や充電池パックの自己消費により使用できる容量が低下します。この充電池パックを満充電にしても使用時間等の性能が満足できない場合は、寿命と思われますので、新しいものと交換してください。

充電池パック(HA-D20BAT-A)の仕様

型式：	HA-D20BAT-A
公称容量：	1850mAh
公称電圧：	3.7V
外形寸法：	約幅52.5×奥行き40×高さ13.5mm
質量：	約46g
付属品：	ソフトケース

仕様

IT-300(本体)

型式：　IT-300-15J
CPU：　Marvel® PXA320
OS：　Microsoft® Windows® Embedded Handheld 6.5
メモリ：　RAM 256MB、フラッシュROM256MB(ユーザー領域：約120MB)
表示：　3.7inch、480×640ドット、カラー透過型TFT液晶
レーザースキャナ部：
読み取りコード：
UPC-A、UPC-E、EAN8 (JAN8)、EAN13 (JAN13)、Codabar (NW-7)、Code39、Interleaved 2 of 5 (ITF)、MSI、Industrial 2 of 5、Code93、Code128 (GS1-128 (EAN128))、IATA、GS1 DataBar Omnidirectional (RSS-14)、GS1 DataBar Limited (RSS Limited)、GS1 DataBar Expanded (RSS Expanded)/GS1 DataBar Stacked (RSS-14 Stacked)、GS1 DataBar Expanded Stacked (RSS Expanded Stacked)
読み取り距離：約40mm〜400mm

Bluetooth®通信：
通信方式：　Bluetooth® Specification Ver.2.0(Class2)
通信距離：　約3m (電波の状態や環境により変化します)
出力：　最大4dBm

無線LAN通信：
標準規格：　IEEE 802.11b準拠
IEEE 802.11g準拠
拡散変調方式：　IEEE 802.11g：
OFDM (Orthogonal Frequency Division Multiplexing)直交周波数分割多重方式
IEEE 802.11b：
DSSS (Direct Sequence Spread Spectrum)直接拡散方式
無線周波数：　中心周波数：
IEEE 802.11b：1〜14ch(2.412〜2.484GHz)
IEEE 802.11g：1〜13ch(2.412〜2.472GHz)
周波数範囲：
IEEE 802.11b：2.400〜2.497GHz
IEEE 802.11g：2.400〜2.4835GHz
伝送速度：　IEEE 802.11g：　54Mbpsまで
IEEE 802.11b：　11Mbpsまで
伝送距離：　IEEE 802.11b/g：屋内50m、屋外150m
(伝送距離は使用環境によって異なります)
チャンネル数：　IEEE 802.11b：14
IEEE 802.11g：13
出力：　IEEE 802.11b：最小11.0dBm、最大17.0dBm
IEEE 802.11g：最小9.0dBm、最大15.0dBm
その他機能：　複数のアクセスポイント間でのローミング機能

microSDメモリーカードスロット：SDHCメモリーカード対応
電源：　メイン電源用：充電池パック　HA-D20BAT-A
バックアップ電源用：リチウム充電池（内蔵）
消費電力：　DC2.1A
電池寿命：　メイン電池：約11時間*
約10時間**
*　CPUスピード設定が自動パワーセーブモードでバックライトOFF、待機：演算：スキャンが20：1：1の場合
**　CPUスピード設定が自動パワーセーブモードでバックライトOFF、待機：演算：スキャン：無線が20：1：1：1の場合
動作温度：　−20〜50℃
動作湿度：　10〜90%RH（結露なきこと）
落下強度：　1.5m***
防水防塵性能：　JIS C 0920防沫形準拠、IEC60529 IP54準拠
※コネクタなどのカバーはすべて閉めた状態
外形寸法：　約76（幅）×155（奥行）×19.6（高さ）mm（突起部は含まず）
質量：　約215g（充電池パックを装着時）
バイブレータ機能：ソフトウェアの設定により使用可

***試験値であり、保証値ではありません。

USBユニット(HA-J65US)

充電仕様：　充電方式：定電流電圧方式
充電時間：約4時間(AD-S15050B)
約6時間(AD-S5050USB)

使用電源：　AD-S15050B、AD-S5050USB

消費電流：　DC5V 2.1A(AD-S15050B)
DC5V 500mA(AD-S5050USB)

本体(IT-300)出力：
DC5V 2.1A

ACアダプタ仕様：
規格名：AD-S15050B
入力：　AC100～240V　50/60Hz　0.36A～0.2A
出力：　DC5V 3.0A

USB-ACアダプタ仕様：
規格名：AD-S5050USB
入力：　AC100V　50/60Hz　0.15A
出力：　DC5V 1.0A

外形寸法・質量：
外形寸法：約86(幅)×47(奥行)×26(高さ)mm
質量：　約42g

動作環境：　動作温度：0～40℃
動作湿度：10～90%RH(結露なきこと)

修理に関する窓口

カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

修理の相談窓口

●修理依頼前の故障・修理・機能に関するご質問に電話でお答えします。

情報機器コールセンター

0570-022066

市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間：月曜日～土曜日
AM9:00 ～ PM5:30
（日・祝日、年末年始、夏期休暇は除く）

携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合、048-233-7241にお掛けください。

修理品受付窓口

●修理依頼後の返却予定日、修理料金、故障内容などの問い合わせにつきましては下記窓口にお問い合わせください。

PAリペアーセンター

0570-011330

市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間：月曜日～金曜日
AM9:00 ～ PM5:30
（土･日･祝日、年末年始、夏期休暇は除く）

住　　所：〒409-3896
山梨県中央市一町畑217
甲府カシオ4号棟内

携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合、055-240-3185にお掛けください。

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2
☎03-5334-4638(代)